

## 岬町庁舎整備検討委員会（第4回）摘録

日 時 令和元年12月1日（日）10:00～11:40

場 所 岬町役場3階 第二委員会室

出席者 （出席委員）12名（以下のとおり）

大西委員、奥野委員、川島委員、川端修委員、木多委員、茂野委員、竹内委員

藤江委員、藤田委員、前川委員、山口委員、和気委員（五十音順）

（欠席委員）川端美恵委員、寺田委員、増田委員

※事務局6名 支援業務委託者2名

### 概 要

#### 1. 開会

…開会にあたって中口副町長及び委員長から挨拶が行われた。

#### 2. 議事

##### 1) 答申書（案）について

…事務局から資料1、資料2により説明を行い、意見を伺った。

（主な意見・質問）

○資料1の回答数は10となるが、回答がいただけていないのか、無回答なのか。

回答率のとらえ方はどうなるのか。

→10人の方から回答をいただいた。回答率は10分の回答数ととらえることとなる。

○財政再生団体になることは絶対に避けていただきたいので、答申に含めていただきたい。

また、仮に財政再生団体になった場合の住民サービス内容等についても明示し、そのうえで住民投票などが必要と考える。

○財政再生団体にならないことが絶対条件である。一方で、決められた予算の中で、住民サービスの問題、立地的な問題を踏まえた支出計画が必要と考えられる。委員会の中での結論としては、幅が制限されてしまうため、今後のまちづくりとしてどう進めていくべきかなど、財源の内容を答申書に含めるべきかは判断が悩ましいと感じる。

- 少子高齢化が目に見えている状況である。何年か後には市町村合併の話も出る可能性がある。その際、負債が大きいと合併協議がなくなる可能性も否定できない。後世に多額の借金を残さないで建てていただきたい。
- 実施設計が早期にできれば補助金に間に合うという意見もあった。一方でみさき公園での検討についても並行して進めるということを答申書に含めていただきたい。
- 多奈川線が廃線になる可能性もあるため、現庁舎所在地が公共交通の利便性が良いため適地であるとしているが、間違っているかもしれない。まちのポテンシャルは高いので将来のためにも、みさき公園周辺での選択肢は残しておきたい。先導的官民連携支援事業で2000万円の補助金を活用して検討することも考慮いただきたい。
- みさき公園が適地であると事前アンケートでは意見として書かなかったが、住民アンケートでは鉄道で来る人は少ないということもあるため、現敷地を前提条件とせず、南海電鉄の本線でもあるみさき公園駅での建設の可能性を示しておくことは意義があると思う。
- コスト面を考慮し、現敷地での建替えを事前アンケートで回答したが、本委員会の始めのほうでは、みさき公園を強く推していた。駅前に10階建てなどを建て、役場は下の階、マンション等を上層部、これがベストだと思っている。事業者が土地を買収しようと思うと高額になると考えられるが、町が買おうと思えばそこまで高額にならない可能性もあると思う。
- みさき公園が無償で手に入るなら良いが、そうではないため、コストを考慮すると現敷地しかない意見した。一方で、将来を考慮したらみさき公園も外せないと思う。答申書（案）にも記載されており、これでよいとも考えられる。
- 借地という選択肢もある。将来に悔いを残さないため、みさき公園については、もう少し強く記載をしていただきたいと思う。
- 市町村合併のことも考慮すると、負債を抱えることは心配であるが、みさき公園の閉園はものすごく寂しいこと。未利用地のままとするよりは、庁舎建設で活気がでるとよいと思う。

○昔、みさき公園の駐車場は通勤用として満車だったが、今はがらがらな状況である。財政再生団体になると住民サービスが低下すると言われているが、職員給与などもカットされている状況の中、住民も痛み分けが必要とも思う。またその他の公共施設（淡輪公民館など）も統廃合や再編していく必要があると思う。

○みさき公園の跡地は魅力的であると思うが、一步踏み出す勇気が出ないのは、不確定要素が多すぎるかもしれない。駐車場だけ使わせてもらえるという都合の良い話になるのか、庁舎建設のついでに公園区域全体を管理することが付帯条件になることも心配であり、これからも維持していくための町の負担がどうなるのかが不安。そのため、現庁舎での建て替えしかないかなと考えており、どちらかに決めるのは悩ましい。

○駅舎の改築に合わせて上層に庁舎を入れることを想定しておく必要があると思う。現敷地を盛土してまで建替えることは精査が必要かもしれない。なお、プレハブ建築については、町民の判断が必要と思う。

○市町村合併の際の負債が多いことについて、それはまちづくりとして頑張っていることに他ならない。

○住民投票の件はいかがするか。プレハブ建築で良いか、みさき公園で将来の可能性を感じるシンボリックな建築とするか、この両方を聞いてもよいかもしれない。

○庁舎機能について、答申書（案）の内容を全て実現するとコストが大きくなるのではないかなどどのように解決していくかの記載がないようにも感じる。

○建替えの場合は令和2年度に実施設計着手は間に合うものか。スケジュール的に厳しいと思う。

○改修の場合は令和2年度に事業完了する必要があり実現は無理と考えられる。建替えのときの補助率は2割くらい。現敷地は民間に売却した場合、それなりに活用できるという意見を聞いている。

→補助制度は、延長が検討されていると聞いている。

南海電鉄とは、公園として利用することで土地譲渡の協議を進めており、他の用途として活用することは難しい。

○公園だけにしておくよりは庁舎が併設されていることで、より魅力的になると考えられる。

○みさき公園についての基本計画のようなものはあるのか。

→総合計画を2020年に見直しする予定。

→手法としては建替え、場所は現敷地とし、これ以外を付帯条件として記載するというところでよろしいでしょうか。

○財政的な課題が解決されれば、という文章としてはこれでよいと考えられる。

○建設場所が「適切」という表現が気になる。「適当」としたほうが良いように思う。現時点では、この敷地が適切であると考えられる、とするのは正しい。一方で、民間活力などの条件を整えば、みさき公園を敷地とすることが望ましい、という表現をすることが委員会の総意ではないか。

→住民投票についてはいかがか。

○財政再生団体に落ちるということであれば、住民投票が必要と考えている。そうでないのであれば、通常の方法で進めることで問題はないと思う。

## 2) その他

○具体的なスケジュールはいかがか。

→12月上旬に答申をもっていきたいと考えている。いずれにしても年内にはまとめたいと考えている。

…最終の取りまとめについては、正・副委員長に一任される。答申については、委員長から町長へ別途行う。

以上